

「一筋の光を求めて」

— 畝 為吉物語 —



今から約一一〇年前。

十四歳の為吉は、真夏の峠の急な坂道を登り、急しや面にへばりつく段々畑へと向かった。背負った重い荷物が肩にくいこむ。鼻が地面につくくらい体が曲がり、背中を起こすと後ろに倒れてしまうくらいの急な坂道だった。

「なんとかならんものかなあ・・・」

為吉が家の手伝いをするために通るには、あまりにつらい峠道だった。村人もまた、この峠で不便をしいられていた。

ある時、手伝いを終えた為吉が段々畑のあぜ道から、海岸沿いを通る呉線眺めていたが、急に立ち上がり水尻トンネルに目をやった。

「これだ。この山にトンネルを通そう。」

為吉の頬は夕日に照らされます赤くほてった。しかし、トンネルを掘るにはとてつもないお金がかかり、そう簡単に実現できることではなかった。

それから三年。十六歳になった為吉は、当時の日本が①外国移民のしようれいを行っていたことを知り、②これはチャンスだ」と、両親の許しを得てハワイに行くことにした。もともと農作業には慣れていた為吉ではあったが、常夏の島の広大なサトウキビ耕地で、朝から晩まで土を掘り、掘っては耕し掘っては耕し・・・毎日太陽に照らされ、常夏の島での重労働はなみだいての苦労ではなかった。しかも一日の賃金がわずかで、

「いつまでもこんなことをしていたのでは、トンネル工事の費用など何百年先になることやら・・・トンネルづくりはやはり夢物語じやっただろうか。」

と、たった一人途方に暮れたため息をもらした。

しかし、悩み続けたある日のことだった。段々畑に続くけわしい峠道を、息も絶え絶え歩いている村の人や、坂村に残してきたつかしい両親の夢を見た。

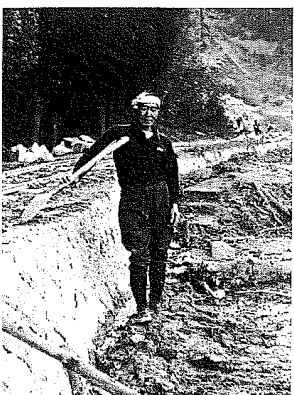
「ここであきらめるわけにはいかない。」

目が覚めた為吉はこの日を境に人の十倍働いた。そして、人の十倍もの苦労もした。そのかいあって、ついに③マットレス工場をつくり成功をおさめてたくさんのお金をためることができた。それは、ハワイにわたって二十年がかりのことだった。

それからさらに二十数年後、為吉は日本にいる息子たちにこんな手紙を送った。

・・・実はわたしは、四十数年間、上条・植田間に道路やトンネルを通す夢をもっていた。もしも賛成してくれるなら、地区の代表者にそのことを相談し協力してもらえよう頼んではくれないだろうか・・・。

為吉がそんなことを考えていたことを初めて知った息子たちは、とまどいをかくせなかった。村人たちも始めは半信半疑だったが、為吉の熱い思いに応え地区の代表たちは何とか賛同し



てくれた。息子たちが早速そのことを知らせると、為吉は長年の夢が実現する喜びにふるえた。

ハワイでの最後の仕事を終わらせると、その二年後には坂村にもどり翌年から念願の工事が始まった。工事は上条・植田の両地区から三百軒余りの人々が総出で取りかかった。為吉も自らスコップをふるい作業現場で働いた。四十年という長い年月を費やしてつくったお金は全て工事のために使った。それにもかかわらず為吉は人々に頭を下げて、

「ご苦労さんです。ようようしてくれんさった。」

と、やさしい目差しを向け人々にお礼を言つて歩いた。さらに、子どもたちのためにと児童公園やプールもつくった。いつも周りの人々に気を使う為吉だった。こうして一年四ヶ月におよぶ工事が終わり、桜の花が咲き始めた暖かな春の日、ついに念願のトンネルは完成した。人々は手を取り合つて喜びの声をあげ、歌に合わせて踊り祝った。



今ではトンネルの完成を記念して、毎年この公園で住民運動会が行われるようになった。

「畝のおじいちゃんがね、みんなのためにトンネルをつくっちゃったんだよ。」

あるお母さんが、運動会にはしゃぐ子どもたちに話して聞かせていた。

「坂町のために力を尽くした為吉さんの銅像を建てようじゃないか。どう

かね為吉さん。」

そんな声も上がったが、

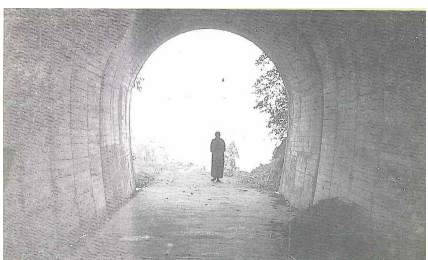
「わしは銅像など建ててほしゅうない。この仕事はみんながしたもんじや。これからもみんな仲良くすりやあええ。」

と、為吉はその話を堅く断り続けた。ただ、トンネルの東側に「協力一致（きょうりよくいっち）」西側に「共存共栄（きょうぞんきょうえい）」という文字を残すことだけ注文して……

【注】

（１）開国後の日本は、第二次世界大戦後に至るまで、労働力過剰であったことから、外国へ移り住むことがすすめられていた。

（２）ベッド用の敷ぶとんを生産する作業場のこと。



上条側から見たトンネルの向こうに海が見える

【参考文献】

山根 富士夫 上条地区住民福祉協議会（平成４年）

新木 正司（昭和６０年）

坂町社会科副読本編集委員会（編集）（平成１４年）

畝為吉翁の偉業―上条トンネルの話―
坂町海外活躍史

わたしたちの坂町